

氷の大陸と青い海水の世界、自然の美しさと生き物の躍動をお伝えしたい！

3月29日（金）、新しくなった「南極大陸」水槽を公開します

海遊館（大阪市港区）では、2019年3月29（金）より、開業以来となる大規模なリフレッシュ工事を終え、自然環境とペンギンたちの暮らしとのつながりを表現した新しい「南極大陸」水槽を公開します。

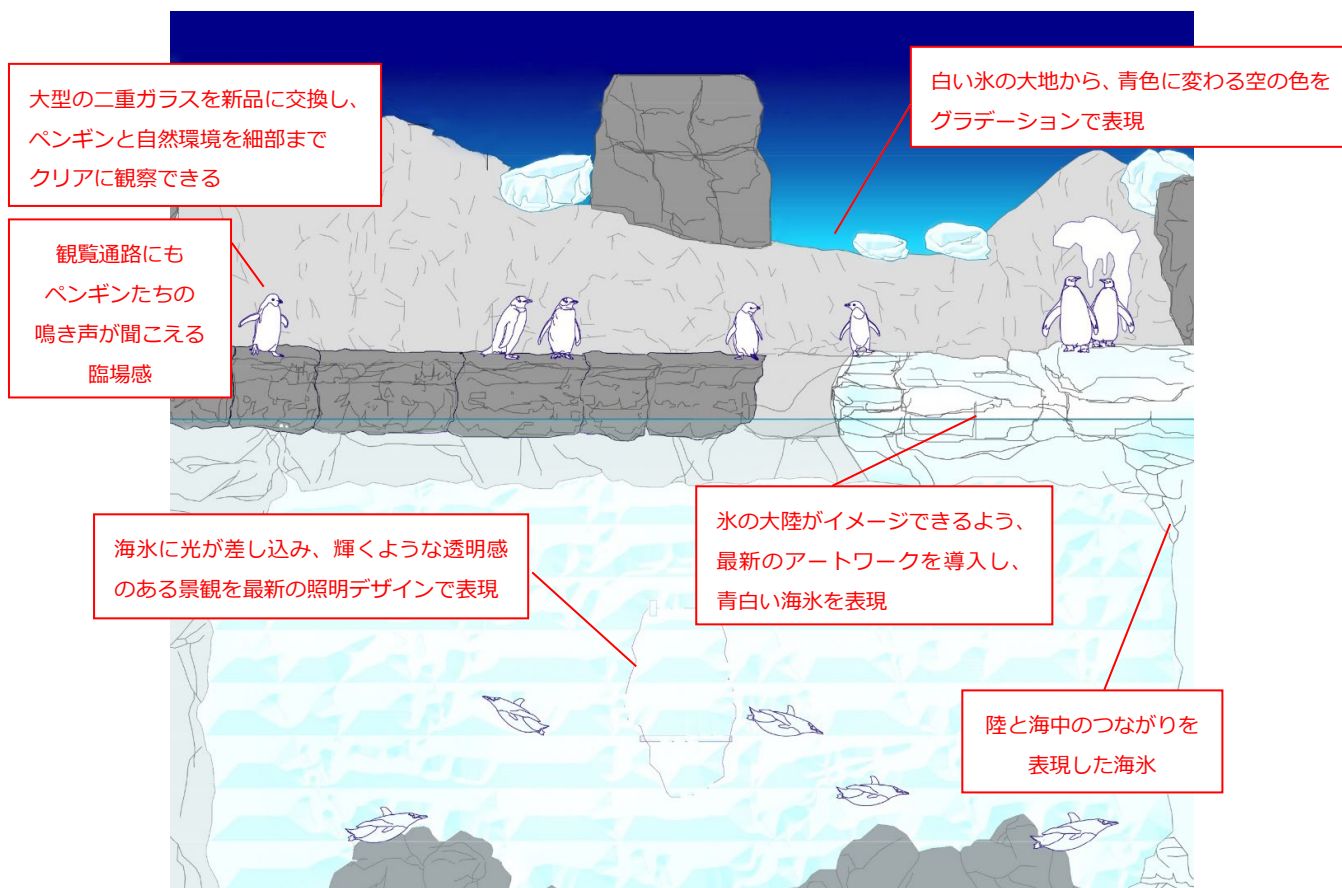
今回のリフレッシュ工事は、飼育員やデザイナーが集まり、それぞれの思いを出し合い、改めて南極大陸の自然について、確認することから始めました。

“ペンギンの健康管理が一番大切だけど、ペンギンだけをご覧いただく施設ではない”

“限られたスペースで白く広大な氷の大陸を表現したい”

“青い海水が陸から海中へとつながる美しい景観を紹介したい”

展示室内が広くクリアに見えるように考案した建築担当者、青い海水の世界を創造した造景アートワークの専門家、南極の冷たい空気と青く透明感のある海水を最新の器具で照らし、夕景までもつかった照明デザイナー、そして何よりもペンギンたちが健康に暮らせるように展示の細部までこだわるペンギン飼育員ほか、各部門の専門家の思いを実現していきました。海遊館では、この新しい「南極大陸」水槽を通して、水陸両方の世界でダイナミックに暮らすペンギンたちと、青く美しい南極大陸の自然環境に思いを馳せていただきたいと考えています。



3月29日（金）は、午前9時30分（開館前）より取材していただけます。事前にお問い合わせください

【関連展示&イベント】

1. ミニ企画展「ペン!ペン!ペン!ペンギン展」開催中!

会期：開催中～2019年7月15日(月・祝)

内容：「南極大陸水槽、リフレッシュ工事の裏側」
「4種類のペンギンの生態や形態の比較」ほか



2. 世界全18種、ペンギンのリアルな足型スタンプを集めよう

3つの水族館を「まわって発見!」世界のペンギン足型コレクション
「ペタ、ペタ、ペタ」を開催します!

会期：2019年4月6日(土)～2020年3月31日(火)

内容：須磨海浜水族園、海遊館、京都水族館が連携し、生き物たちの魅力をもっとお伝えしたいという思いから始めました。
全18種類の足型を集められる機会はとても珍しく、ペンギンを知る楽しさを感じていただける企画です。



【「南極大陸」水槽に展示するペンギンについて】 ※写真は過去に撮影したイメージです



オウサマペンギン

英名：King penguin

学名：Aptenodytes patagonicus

ペンギンの仲間では2番目に大きく、体長約90cm。黄色い嘴と胸のあたりのグラデーションが鮮やかで美しい。



ジェンツーペンギン

英名：Gentoo penguin

学名：Pygoscelis papua

頭頂部にある白い斑紋が特徴で、体長約75cm。ペアで挨拶をしたり、鳴き交わしたりする様子が愛らしい。



アデリーペンギン

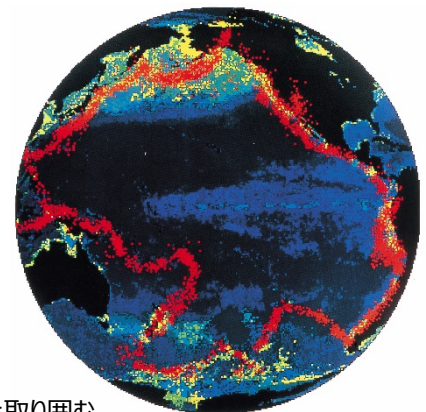
英名：Adelie penguin

学名：Pygoscelis adeliae

目の周りにある白い輪が特徴。体長は約70cmになる。小石で浅いクレーター状の巣を作り、雛をペアで育てる。

【海遊館について】

1990年7月にオープン。“地球とそこに棲むすべての生命はつながっている”をコンセプトに、多種多様な生物が暮らす生息環境に浸っていただけるよう、生態展示と観覧空間の工夫に進化を続けている。美しさや躍動、不思議さ、驚きや畏れなど情緒的な経験を通して、自分自身を含む生命と海、そして地球とのつながりに想像力を喚起します。



展示テーマは、地球最大の海“太平洋”を取り囲む
環太平洋火山帯（Ring of Fire）と環太平洋生命帯（Ring of Life）